

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マクアケ
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中山 亮太郎
 問合せ先責任者（役職名） IR部 部長（氏名） 金 廷賢 TEL 03-6328-4038
 四半期報告書提出予定日 2024年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第1四半期の業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,029	13.4	△16	—	△15	—	△6	—
2023年9月期第1四半期	908	△21.2	△186	—	△183	—	△185	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	△0.48	—
2023年9月期第1四半期	△14.79	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	8,211	5,105	61.5
2023年9月期	7,955	5,105	63.5

（参考）自己資本 2024年9月期第1四半期 5,051百万円 2023年9月期 5,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,925	3.0	16	—	21	—	5	—	0.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期1Q	12,666,700株	2023年9月期	12,636,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年9月期1Q	180株	2023年9月期	130株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期1Q	12,663,612株	2023年9月期1Q	12,568,570株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第1四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の思いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入するプロジェクトサポーター（消費者）をつなぐ応援購入サービスMakuakeを運営しております。

また、付随サービスとして企業等有する研究開発技術を活かした新事業の創出をサポートするMakuake Incubation StudioやMakuakeにおける応援購入金額の拡大をサポートする広告配信代行、プロジェクト終了後ECサイトにて継続販売するMakuake STORE、海外からの応援購入を受け付けるECサイトMakuake Global、全国各地の様々な業態のパートナー企業と連携しMakuake発の商品をリアル店舗で展示・販売するMakuake SHOP等を提供しております。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行後、個人消費やインバウンド需要を中心に緩やかに持ち直しております。一方、世界的な金融引き締めや国際情勢等による原材料価格の上昇、供給面での制約等に起因する物価上昇等が続いており、依然として先行きは不透明な状況となっております。

当社を取り巻く市場環境としては、新型コロナウイルス感染症に関する各種制限が解除されてから始まったオフラインを中心とするリ・オープニング（経済再開）が体験への消費、中でも旅行、イベント参加、飲食等に強くみられ、この流れは当事業年度においても継続することが予想されます。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間はプロジェクト掲載開始数の拡大よりも1プロジェクト当たりの単価の向上に注力すると同時にリピート実行者やリピートサポーター向けを中心とした各種施策を展開してまいりました。実行者向けには、リピート実行者による良質なプロジェクトの創出を促すため、継続的に接点を持ちサポートするとともに、目標の応援購入金額が大きいプロジェクトを中心に各種付随サービスを活用した単価向上のサポートを強化しました。また、全てのプロジェクトにおいて応援購入金額を伸ばしていく上で大きな影響を与える初日の応援購入金額の最大化に注力しました。

他方、サポーター向けには、当社が定める基準に基づき認定した推奨実行者に独自のマークを付与し、サイト内で可視化することでサポーターがより安心して応援購入を楽しめる環境を強化したことに加え、いち早く応援購入したいプロジェクトの開始通知を受け取れる機能を始め、応援購入体験をより豊かにする各種機能を展開しております。さらに、サポーターのニーズに合わせた様々なクーポンの配布を中心とした各種CRM施策を進めることでリピート応援購入を促しました。

これらの施策により応援購入総額は前年同四半期比8.0%増加の4,592,270千円となりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,029,895千円（前年同四半期比13.4%増）、営業損失は16,900千円（前年同四半期は営業損失186,298千円）、経常損失は15,619千円（前年同四半期は経常損失183,237千円）、四半期純損失は6,060千円（前年同四半期は四半期純損失185,900千円）となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は8,211,627千円となり、前事業年度末と比べ256,416千円の増加となりました。

流動資産は159,100千円増加し、7,220,388千円となりました。主たる要因は、プロジェクト預り用預金が289,702千円増加したことによるものであります。

固定資産は98,759千円増加し、990,758千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が87,813千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は3,105,725千円となり、前事業年度末に比べ256,331千円の増加となりました。

流動負債は259,720千円増加し、3,050,554千円となりました。主たる要因は、預り金が255,687千円増加したことによるものであります。

固定負債は3,389千円減少し、55,171千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が2,700千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は5,105,902千円となり、前事業年度末に比べ85千円の増加となりました。主たる要因は、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,090千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきまして、2023年9月期決算発表時から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,148,698	4,056,047
プロジェクト預り用預金	2,265,771	2,555,474
売掛金	483,759	440,562
その他	170,340	175,587
貸倒引当金	△7,282	△7,282
流動資産合計	7,061,287	7,220,388
固定資産		
有形固定資産	4,664	5,048
無形固定資産	541,620	629,433
投資その他の資産		
その他	353,250	363,813
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	345,713	356,276
固定資産合計	891,998	990,758
繰延資産	1,924	481
資産合計	7,955,211	8,211,627
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	28,866	14,616
預り金	2,301,067	2,556,755
その他	460,900	479,182
流動負債合計	2,790,834	3,050,554
固定負債		
退職給付引当金	2,435	2,738
勤続インセンティブ引当金	55,132	52,432
その他	992	-
固定負債合計	58,560	55,171
負債合計	2,849,394	3,105,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,127,283	3,130,373
資本剰余金	3,127,283	3,130,373
利益剰余金	△1,202,840	△1,208,901
自己株式	△625	△659
株主資本合計	5,051,101	5,051,187
新株予約権	54,715	54,715
純資産合計	5,105,816	5,105,902
負債純資産合計	7,955,211	8,211,627

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	908,438	1,029,895
売上原価	163,780	254,044
売上総利益	744,657	775,851
販売費及び一般管理費	930,956	792,751
営業損失(△)	△186,298	△16,900
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	13	-
講演料等収入	2,844	1,968
助成金収入	2,810	340
その他	29	586
営業外収益合計	5,699	2,897
営業外費用		
為替差損	169	172
株式交付費償却	2,468	1,443
営業外費用合計	2,637	1,616
経常損失(△)	△183,237	△15,619
税引前四半期純損失(△)	△183,237	△15,619
法人税、住民税及び事業税	2,662	2,759
法人税等調整額	-	△12,318
法人税等合計	2,662	△9,558
四半期純損失(△)	△185,900	△6,060

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。